

国体に向け ドがリニューアル



平成29年10月に開催される「愛顔つなぐえひめ国体」において女子サッカー競技の会場となる、あけぼのグラウンドの改修工事が完了しました。

あけぼのグラウンドは昨年の6月から改修が進められていましたが、これまでの土のグラウンドから、日本サッカー協会の公認を受けた、全面人工芝（ロングパイル人工芝）の緑がまぶしいグラウンドに生まれ変わっています。これに合わせて防球ネットや観客席も整備され、グラウンド内には2階建てのクラブハウスも新設されました。競技者の控室や会議室としても幅広く利用でき、国体を開催するにふさわしい環境が整いました。今年の5月3日（火）から5日（木）まで開催される「愛南サッカーフェスティバル（ユースの部）」を皮切りに、本格的な利用が始まります。

また、今年の10月22日（土）、23日（日）には、国体のリハーサル大会として、「第52回全国社会人サッカー選手権大会」の開催が決定しています。

あけぼのグラウンドの利用は、事前に申請が必要となります。お問い合わせは、生涯学習課スポーツ振興係（TEL 73-1112）までお願いします。

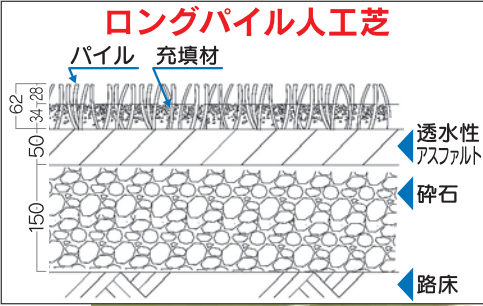
愛媛のサッカー界発展に貢献 県サッカー協会が愛南町に感謝状



エミフル MASAKI で開催された「愛媛県サッカーアウォーズ表彰式」で、あけぼのグラウンドの全面改修に対する感謝状と記念のトロフィが、愛媛県サッカー協会の豊島吉博会長から清水雅文町長に贈呈されました。

2017 えひめ

あけぼのグラウン



ロングパイル人工芝の材料には、超耐久ポリエチレンを使用し、温度上昇の抑制や選手のケガ防止のためにゴムチップを充填しています(写真①)。

また、250人収容できる新設の観客席(写真②)には愛媛県産の杉を利用し、防球ネット(写真③)の整備も行いました。



①



クラブハウス1階



クラブハウス2階



③



②



1階 選手控室



グラウンド内には、延べ床面積226㎡のクラブハウスが新設されました。

1階には広々とした控室のほか試合観戦用のカウンターが、2階にはグラウンドが一望できる多目的室があり、快適な空間となっています。



このグラウンドを舞台に、えひめ国体では、どんなドラマが生まれるのでしょうか。

